

発明の名称： 片口鰯の搬送処理装置

発明者： 石田 典子、木村 郁夫

共有特許権者： 東洋水産機械(株)

番号： 特許第5070944号(特願2007-148723)

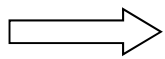
解決すべき課題

・カタクチイワシは資源量が豊富だが、未だ利用が進んでいない。

→これをなんとか利用できないだろうか！

・魚を整列させるのに、コストがかかりすぎる。

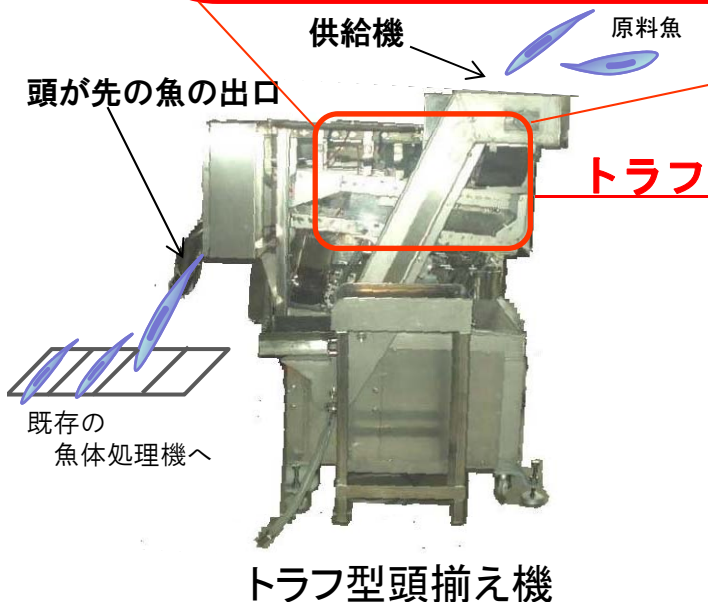
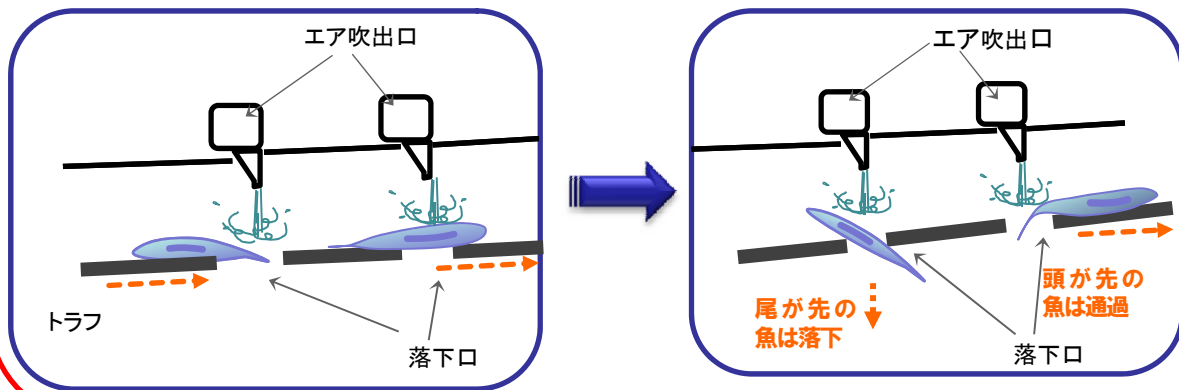
→小型魚における魚体処理機(ヘッドカッター、フレーマシンなど)は存在するが、魚体整列機は未開発であり、魚体の整列は手作業で行われている。



小型魚を対象とした魚体整列機を開発し、カタクチイワシ資源を有効に利用したい。

発明のポイント

中・大型魚の魚体整列機で使用されている「トラフ」の途中に、魚体の何分の1かの長さの穴(落下口)を開け、その上方から水流や風圧を当てて、頭の方を揃える方法を開発！



既存の魚体処理機と連結することにより、カタクチイワシの魚体処理システムが完成する。

魚体処理の低コスト化